

# 未来への遺産

石川県

歴史・文化・伝統の象徴  
「金沢城公園」



手前は、昨年4月に復元した金沢城三御門の一つで、実質的な正門「河北門」  
奥は、H13年に完成した「菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓」

庭の国宝とされる特別名勝「兼六園」。かつては金沢城の外庭でした。  
その金沢城は、戦国時代に置かれた金沢御堂を前身とし、天正十一（一五八三）年の前田利家入城後の本格的な城づくりを経て、明治二年の版籍奉還まで、江戸時代約三百年に渡り前田家十四代の居城でした。まさに、加賀百万石の伝統と文化が培われた拠点です。



金沢城公園配置図  
現在、橋爪門二の門と玉泉院丸跡の整備に取り組んでいる。

本物志向で取り組んでいます。  
これまでに、明治以降最大級の城郭建築物である「菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓」や金沢城三御門の一つ「河北門」、さらには、「内堀」や外堀であった「いもり堀」が復元されています。  
また、高度な技術を駆使した多様な石垣遺構は「石垣の博物館」と賞され、金沢城の見所の一つとなっています。

明治以降は陸軍の拠点、戦後は金沢大学キャンパスとなっていました。が、郊外への大学移転を機に、平成八年、県による公園整備がスタートしました。  
公園整備に当たっては、城郭の地割りに基づき、史実を尊重して、



空から見た金沢城公園  
写真左側の堀は、昨年4月に完成した「いもり堀」、右側手前は兼六園

平成二十年、金沢城公園は国の史跡に指定されました。

これを機に、次代につなぐ文化遺産の価値と魅力を一層高めていくため、現在、「橋爪門二の門」の復元や兼六園に先立って作庭され城内の庭園であった「玉泉院丸跡」の整備などに取り組んでいます。

平成二十六年年度には北陸新幹線が金沢まで開通する予定であり、新たに魅力が増した金沢城が全国各地からの皆様をお迎えします。

お問い合わせ

石川県土木部公園緑地課

TEL 〇七六―二二五―一七七二